

HEALTHY Hot Mail

ここに幸あり



たま日吉台病院分院
病院長 桑野 稔啓

89 歳のハルコさんが転院してきました。関節リウマチで寝たきり、表情はしっかりされており、会話も成立します。日常生活動作はすべて介助、食事は胃ろうから、薬もたっぷり入っています。

主訴は腰痛。医師と思しき人間が病室の横を通るたびに『〇〇ハルコです。腰が痛いんです、何とかしてください!!』とか細い声で訴えてきます。すでにアセトアミノフェン入りトラマドールを 8 錠/日に、ロキソブルフェン 3 錠/日、さらに頓用のジクロフェナクナトリウム坐剤まで持参。看護師もその薬の多さとその割りに疼痛除去がいまひとつであることに気づいており、曲がった腰と年齢的にも如何ともし難いと諦念の様子です。シップはかぶれるので使わないで、と前医の看護師からの送りです。

体を触ってトリガーポイントを探すもここぞと言う点は見つからず、確かにレントゲン上も骨粗しょう症は言うまでもなく顕著であり、ブロック注射を試みたが、効果は今ひとつでありました。

療養病棟の毎日は、とすると「めし・くそ・しょうべん・ふる・すいみん」だけで明け暮れてしまいがちな日常の連続であり、それぞれの“個”に対する敬意を意図的に維持するには相当の気配りと熱意が必要となってきます。そこで私たちの病院では、患者さんの出身地や趣味、特技、好きな歌などを積極的に聴きだし、共有できる接点を見つけるようにしています。そして、先月、わずか 30 分ではありましたが、医局主催のミニ・コンサートを企画して、全スタッフ協力のもと、家族参加多数で盛り上がりを見せました。

医師とのデュエットでは、患者さんが選んだ曲をカラオケではなく、スタッフによるエレクトーンの生演奏でアピール。肺がんのKさんは息切れしながらも最後まで熱唱！素敵な笑顔が写真にも残りました。それからしばらくは、楽しかった！次はいつか？何を唄おうか？と話は尽きず、気づくと発熱者が皆無の時期が 2 週間ほど続き驚きました。

それからというもの、回診のたびに患者さんの好きな歌をひとフレーズ一緒に歌う日々が続いています。

89 歳のハルコさんは『坐薬はキライ!』と使っていません。トラマドールは今では 1 日 2 錠、もうすぐ終了の兆しです。ロキソブルフェンは飲んでいません（正確には注入していません）。

音楽療法に驚愕して治療法の新境地を見出した女医の S 先生が、ハルコさんが好きだと知った“ここに幸あり”をベッドサイドと一緒に歌ったその日の午後から『〇〇ハルコです。腰が痛いんです。何とかして下さい!』の耳慣れたセリフは聞かれなくなりました。

歌が嫌いな呼吸不全の頑固爺さんのヒロさんには使えないけれど、ドネペジルの副反応などとは気づかれず、食思不振から I V H で転院して来られるお年寄りを沢山見ていると、音楽療法は好みさえ間違えなければ、全く副作用のない素晴らしい治療法だと小躍りするこの頃であります。



命の限り
こだまの果てに
君に寄り添ひ
ここに幸あり

呼びかける
待つは誰
明るく仰ぐ
白い雲



編集後記

今年の夏は連日猛暑日続きの暑い毎日でしたので、秋の到来は例年以上に嬉しく感じられるのではないのでしょうか。

今号の「ひだまり」は専門外来、人間ドックオプション検査の特集と、8 月に当院で開催した納涼盆踊り大会のご報告をさせていただきました。納涼会にご来場いただきました皆様のおかげで今年も大盛況のうち終わることができました。誠にありがとうございました。今後も地域の皆様のお役にたてるよう努力してまいります。それでは次号もお楽しみに。

広報委員 R

保育室から 納涼盆踊り大会

例年を上回る猛暑が続く中、元気いっぱいの保育室の子どもたち。プールや水遊びといった夏ならではの遊びに夢中です。8 月 2 日の納涼祭では、この日のために子どもたちが一生懸命練習を重ねてきた踊りを 3 曲披露しました。一人ひとりがお気に入りの浴衣や甚平を身に付けて会場へ。少し緊張気味の子どもたちでしたが、リズムに合わせて楽しそうに踊ってくれました。



みんなの広場

ひだまり

たま日吉台病院

<http://www.tamahiyo.or.jp/>

秋号

2013 autumn
Vol.36



7月20日(土)、新百合ヶ丘のホテルモリノにて 新富士グループ合同説明会を開催しました!

たま日吉台病院が所属する新富士病院グループは、既存のグループ病院、介護施設に加え、H26 年に新規開設予定の鶴川リハビリテーション病院（仮称）、ヴィラージュ虹ヶ丘（特別養護老人ホーム）を対象とした、職員採用のグループ合同説明会を実施いたしました。

新富士病院グループ

● 医療法人社団 [神奈川県]
晃進会 たま日吉台病院
たま日吉台病院分院
よろこび（訪問）ほか

● 医療法人社団 [東京都]
三医会 鶴川記念病院
ひまわり（訪問）ほか

● 医療法人財団 [東京都]
逸生会 大橋病院
ラポール高島平

● 医療法人社団 [静岡県]
喜生会 新富士病院
ヒューマンライフ富士（老健）ほか

● 社会福祉法人 [静岡県]
秀生会 ヒューマンヴィラ伊豆（特養）
ヴィラージュ富士（特養）
富士中央ケアセンター（老健）ほか

● 社会福祉法人 [神奈川県]
美生会 ヴィラージュ川崎（特養）

たま日吉台病院の
スマホサイトはこちら



たま日吉台病院 〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺 1105 番地
TEL: 044-955-8220 FAX: 044-953-8199

分院 〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺 1142 番地
TEL: 044-955-1611 FAX: 044-955-1621

専門外来

専門外来についてご紹介します！

たま日吉台病院

糖尿病

糖尿病はまったく症状がないため、病気だということを認識しにくく、放置するとさまざまな合併症を引き起こします。

主な合併症

- 網膜症 → 失明
- 腎症 → 透析
- 神経障害 → 足の痛み、痺れ、胃腸障害など

ライフスタイルが180度変わってしまう可能性があります。当院では、糖尿病専門医による指導（食事療法・運動療法）、治療（内服療法・インスリン注射）を行っています。



診療曜日・時間

木曜日(午後)・土曜日(午前)
担当：安岡医師

禁煙

薬で治療できます。

対象となる患者様

- 禁煙したいが方法がわからない
- たばこがやめたくてもやめられない
- 医師から禁煙するように言われている



診療曜日・時間

火曜日(午前) 月曜日(午前)・火曜日(午後)
担当：中島医師 水曜日(午後)第1、3、5週のみ
土曜日(午後)
担当：成田医師

睡眠時無呼吸症候群

睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に空気の通り道である気道が閉塞して呼吸が止まる病気です。

睡眠時無呼吸症候群の人は、高血圧、糖尿病、高脂血症などになりやすく、虚血性心疾患や脳血管障害を引き起こす可能性が高いと言われています。また日中の眠気のため、居眠り運転による交通事故も問題となっています。

肥満の人が罹る病気と思われがちですが、日本人は痩せていても睡眠時無呼吸症候群になりやすく、男性だけでなく女性でも閉経後に増加し、子供でも認められる病気です。

いびき、日中の眠気、熟眠感が無い、起床時の頭痛、夜間頻尿

など症状がある方、高血圧の薬を飲んでいるのに、なかなか血圧が下がらない方などは、当院の睡眠学会認定医による専門外来でどうぞご相談ください。

痛みを伴わない、ご自宅で行う簡単な検査で診断が可能です。

また女性医師が担当しますので、女性の患者様もお気軽にご相談下さい。



診療曜日・時間

土曜日(午前)※予約制外来
担当：成田医師

ご不明な点等御座いましたら、お気軽に連絡ください。

専門外来の予約やお問い合わせ



044-955-8220



川崎市がん検診 無料クーポンについて

川崎市では一定の年齢を迎えた方に、各種がん検診無料クーポン券が発送されてます。たま日吉台病院では本院・分院共にご利用いただけますが、有効期限があり期限まじかになると混雑致しますので、余裕をもってお早目の受診をお勧め致します。

川崎市がん検診についての連絡先

本院 044-955-8220

分院 044-955-0454（要予約）

人間ドック

気になる疾患に合わせて追加できます。

たま日吉台病院分院（要予約）

部位	検査	発見できる主な疾患
脳	頭部MRI、MRA	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、未破裂脳動脈瘤、もやもや病、脳腫瘍、大脳白質病変
呼吸器	胸部CT	肺炎、肺結核、肺がん、COPD(慢性閉塞肺疾患)、胸膜炎
血管、血圧	血圧脈派検査	動脈硬化
肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、前立腺	腹部CT、前立腺超音波	肝臓がん、肝血管腫、肝硬変、胆道がん、胆石、胆のう炎、膵炎、大動脈瘤、腎のう胞、腎がん、腎結石、尿管結石、前立腺肥大症、前立腺がん

その他にも、追加できる検査が御座いますので、ご検討の際には、お気軽に連絡ください。

人間ドック、健康診断の予約やお問い合わせ

健康管理センター



044-955-0454

納涼盆踊り大会を実施しました！

本院・分院合同による2回目の開催という事もあり、去年以上に、多くの参加者・スタッフが集まり大盛況でした。ご協力、ご参加頂いた皆様有難う御座いました。



納涼盆踊り大会 実行委員長 片山さんより



皆様のご協力のおかげで、納涼盆踊り大会は、大成功のうちに終わりました！模擬店のやきとりの味も格別でした！

医療福祉相談室よりお知らせ

- 入院費のことが心配
- 医療費助成について知りたい



などなど相談室の看護師、ソーシャルワーカーにお気軽にお声かけください。秘密は厳守致します。

お問い合わせ

本院

044-955-8220（一般 / 療養）

分院

044-955-1611（療養）

コメディカル情報

画像診断科

新規導入予定のお知らせ



たま日吉台病院では企業検診等を目的とし、出向いて健診が受けられるよう巡回健診用デジタル胸部レントゲン車（車椅子対応）を新規導入する予定です。

特徴

- コンパクトな車体により駐車スペースの縮小
- 車椅子での撮影が可能
- デジタル撮影で診断能力向上
- 少人数を対象とした小型健診車

お問い合わせ

健診センター受付



044-322-9152

